

勝浦市議会だより

みんなのギカイ

2022年 第180号 令和3年12月定例会等の内容をわかりやすくお知らせします

対談!
特集記事 勝浦水産事務所と市議会



特集記事	2・3P	一般質問	9～13P
審議結果・トピックス	4・5P	きみの未来、あなたの未来	
委員会活動等	6～8P	議会のうごき 編集後記	14P
11月臨時会	8P		

令和4年2月
広報広聴
常任委員会
0470-73-6662

特集記事

勝浦 水産事務所 と 市議会

特集記事第27回は、勝浦水産事務所の皆さんとの対談です。

水産業の課題と未来について語っていただきました。



勝浦は可能性を秘めた街

【水産事務所について教えてください】

●水産事務所は県の農林水産部水産局の出先機関で県内には、勝浦のほか銚子、館山に事務所があります。勝浦水産事務所の歴史は古く、昭和9年の水産試験場勝浦分場及び無線局から始まり、昭和32年の組織見直しにより館山水産事務所勝浦支所が設置され、昭和60年に現在の場所に移転しました。

組織体制は、漁業調整指導課6名、改良普及課3名、漁業取締船8名

及び所長の全18名となっています。所管する区域は長生郡白子町から勝浦市までとなっています。

【お仕事の内容を教えてください】

●漁業調整指導課（以下…漁調課）は、漁業法や漁船法などの許認可等を主に、漁業協同組合の検査や、漁協等の施設設備などに係る補助事業なども担当しています。

また、漁業秩序の維持を図るため、漁業取締船「ふさかぜ」を配置して

おり、勝浦漁港を拠点に、銚子沖合から東京湾までの漁業取締り活動を行っています。

●改良普及課（以下…普及課）は、資源管理や栽培漁業の推進、漁業者の所得向上のための水産物の需要喚起など漁業者や漁協女性部などの取組支援のほか、担い手対策を担当しています。



【お苦勞をわけている点はありますか】

●漁調課：一昨年漁業法が改正されましたが、漁業者の皆さんの操業を踏まえつつ新しい資源管理などの制度を運用していくことが1点。もう1点は多くの漁港施設などの老朽化が進んでいる中、こうした施設の整備をどのように進めるかです。

●普及課：勝浦市の沿岸は、アワビやイセエビにとって重要な岩礁や藻場が広がっています。近年、藻場の減少が全国的にも問題となっており、勝浦の海でも海藻を食べるブダイやアイゴなどが増えていることから、漁業者の皆さんと藻場を守る取組を開始したところです。

【喜びや遣り甲斐を感じることは何ですか？】

●漁調課：私たちは船を造るところから関わります。業務で関わった新しい船が実際に何キロのマグロを水揚げしたなどの話を聞いたりすると、自分のことのように良かったと感じます。また課題が解決して、「あの時ありがとうね」と言っていただ

けると、苦勞が報われたなと感じます。私たちとしては、感謝の言葉をかけていただけるような仕事をしなければいけないと常に思っています。

●普及課：私たちは、水産総合研究センター等と連携して、漁業者の皆さんの資源管理などの取組を支援しています。漁業者の皆さんからの「良かった」の一言が一番嬉しく、この仕事をしていてよかったと思っています。

【勝浦市や市議会にご意見やご要望はありますか？】

●県庁との連携と同じくらい市農林水産課の皆さんとは頻繁にやり取りさせていただいていますので、引き続き連携させていただき、漁業者の所得向上や地域の活性化に繋がっていきたいと思います。

【勝浦市のイメージをお聞かせください】

●自然が豊かで、そして皆さん人柄が良く、海の幸もたくさんあり、たくさん可能性を秘めていると思っています。漁業者の皆さんは、本当に元

気で、笑顔が絶えず、いろいろな話を教えてくれます。そのようなところが本当にいいところだと思っています。

【最後にPRRなどありましたらお願いします。】

●勝浦の水産を盛り立てていくことが日々考えています。漁業者の皆さん、漁協からよく話を聞いて、寄り添うことを基本にやっています。PRRの仕方がないので、地道に1つずつ頑張っています。今日はありがとうございました。



しだ まさひろ 信太 雅博 所長



しょうじ のりひこ 庄司 紀彦 改良普及課長



おおつき なおや 大槻 直也 漁業調整指導課長

令和3年12月定例会審議結果

勝浦市議会ではこんなことが決まりました！

○12月定例会 会期 12月6日から12月16日まで11日間

出席議員の全員が賛成した議案等

議案番号	件名	付託委員会	結果
議案第54号	勝浦市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び勝浦市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生	可決
議案第56号	勝浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生	可決
議案第57号	勝浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生	可決
議案第58号	勝浦市水道事業条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生	可決
議案第59号	勝浦市消防団条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	可決
議案第61号	令和3年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算	産業厚生	可決
議案第62号	令和3年度勝浦市介護保険特別会計補正予算	産業厚生	可決
議案第64号	夷隅郡市広域市町村圏事務組合理約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	総務文教	可決
請願第3号	「ワクチン・検査パッケージ」に関わる意見書の提出を求める請願	産業厚生	採択
議案第65号	令和3年度勝浦市一般会計補正予算	/	可決
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		可決
発議案第8号	「ワクチン・検査パッケージ」に関する意見書について		可決

議会報では、市民生活と深く関わる議案をいくつか取り上げて重点的にお伝えしています。全議案については、勝浦市ホームページをご覧ください。

議案の賛否（賛否が分かれた議案のみ掲載）

議案番号	件名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
			鈴木克己	狩野光一	渡辺ヒロ子	照川由美子	戸坂健一	磯野典正	久我恵子	寺尾重雄	佐藤啓史	岩瀬洋男	松崎栄二	丸昭	黒川民雄	岩瀬義信	末吉定夫
議案第53号	令和3年度勝浦市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○
議案第55号	勝浦市火葬場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	×	○	○	○	×	○	×	○	○	—	×	○	○	○
議案第60号	令和3年度勝浦市一般会計補正予算	可決	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—	○	○	○	○
議案第63号	指定管理者の指定について ※かつら海の中公園滞在型観光施設	可決	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—	○	○	○	○

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「退」は退席（棄権）、「除」は除斥、「—」は議長を表します。

※議長は、地方自治法の規定により採決に加わりません。

●トピックス その1

「ワクチン・検査パッケージ」に関する意見書を全会一致で採択

請願第3号「ワクチン・検査パッケージ」に関する意見書が全会一致で採択されたことに伴い、発議案第8号が産業厚生常任委員長から提案され、全員賛成で可決されました。

以下、意見書

現在「ワクチン・検査パッケージ」新型コロナウイルスワクチン接種者と検査で陰性が確認された者は行動規制が緩和され、感染予防をしながら、経済活動を再開させる為の制度である。しかしながら、今回のワクチン接種に対し、不安を持つ者もいる。

また、アレルギー疾患などを有するために接種ができない者もいる。

よって国におかれては「ワクチン・検査パッケージ」の導入・運用にあたり、ワクチン未接種者への差別や社会の分断を生まないよう格段の配慮を要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月16日

千葉県勝浦市議会議長 松崎 栄二

内閣総理大臣 内閣官房長官 厚生労働大臣

新型コロナ対策・健康危機管理担当大臣 ワクチン接種推進担当大臣 宛

常任委員会等の活動報告

総務文教常任委員会

- ・議案第59号 勝浦市消防団条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議案第64号 夷隅郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

以上2件の議案については、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

- ・議案第60号 令和3年度勝浦市一般会計補正予算

予算案は、既定予算に2億314万8千円を追加し、予算総額を114億7,743万円にしようとするものです。

補正予算案には、介護給付費や福祉事業費の増強のための追加、新型コロナワクチン3回目接種事業及び令和3年産コメ価格暴落に対する農家支援対応予算等が計上されていますが、予算案の中に、(仮称)かつうら海中公園再生計画事業として、建設工事監督支援業務委託料502万3千円が提案されていました。

この海中公園再生事業関連予算に疑問があるとのことからの反対討論と問題なしとする賛成討論があり、採決の結果、賛成多数で可決されました。

産業厚生常任委員会

- ・議案第54号 勝浦市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び勝浦市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する規準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議案第55号 勝浦市火葬場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議案第56号 勝浦市国民健康保険の一部を改正する条例の制定について
- ・議案第57号 勝浦市国民健康保険税の一部を改正する条例の制定について
- ・議案第58号 勝浦市水道事業条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議案第61号 令和3年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算
- ・議案第62号 令和3年度勝浦市介護保険特別会計補正予算
- ・議案第63号 指定管理者の指定について
- ・請願第3号 「ワクチン・検査パッケージ」に関わる意見書の提出を求める請願

産業厚生常任委員会には、以上9件が付託され、12月16日委員会を開催。

審議の結果、最終日の本会議において、委員長からの審査結果報告後、採決を行い、議案第54号、議案第56号ないし議案第62号は全会一致により「可決」、議案第55号、議案第63号は賛成多数で可決となりました。

※審議の詳細は、7ページに記載しています。

議案第55号で提案された「勝浦市火葬場の設置及び管理に関する条例」の一部を改正する条例の制定について審議しました。

内容は「使用区分」と「使用料」の変更で、詳細は以下のとおりです。

改正前		改正後 ※下線は変更部分	
使用区分	市内の者	使用区分	市内の者
15歳以上の者 1体	6,000円	<u>12歳以上の者</u> 1体	<u>10,000円</u>
15歳未満の者 1体	3,600円	<u>12歳未満の者</u> 1体	<u>7,000円</u>
死産児 1胎	1,500円	死産児 1胎	<u>3,000円</u>
改葬遺骨 1件	1,500円	改葬遺骨 1件	<u>3,000円</u>
四肢等 1件	1,500円	四肢等 1件	<u>3,000円</u>

提案の理由は、「使用者負担の適正化」の観点、および「近隣自治体との使用料の均衡」を考慮したものと説明を受け審議を行いました。複数の議員から質疑があり、討論を経て採決され、賛成多数で可決されました。

反対討論 ●コロナ禍の影響で市民経済への支援が求められている中、なぜ今のタイミングで重要な生活インフラの値上げを敢行するのか理解できない。

コロナ禍の終息を見極めてからの再提案が妥当であることから本案に反対する。

●過去に値上げの検討もされた中で、利用者の心情に寄り添う勝浦市の想いとして、低廉な料金を長年維持してきたことの意味や、コロナ禍の今値上げを行うことは市民の理解を得られないことから、本案に反対する。

賛成討論 ●財政健全化の観点から「使用者負担の適正化」は重要。当該使用料は長年にわたり近隣自治体より低く据え置かれており、また改正後においても、近隣自治体より低く維持される。今後の施設維持管理の観点からも「使用者負担の適正化」は早期に行うべきと考えることから、本案に賛成する。

議案第63号 指定管理者の指定について

『かつうら海中公園滞在型観光施設』の指定管理者を以下の通り指定するため、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めたところ、審議の結果、賛成多数で可決されました。

◎指定管理者となる団体の名称等

ソルト・コンソーシアム株式会社（代表取締役 井上 盛夫）

◎指定期間

令和4年7月1日から令和9年3月31日まで

勝浦市議会表彰選考委員会

勝浦市議会表彰受賞者決定

令和3年12月16日に、勝浦市議会表彰選考委員会を開催し、後期分（令和3年7月1日から11月30日の期間）の市内小中学校の児童・生徒を対象とした候補者を学校より推薦していただき、選考審査をした結果、表彰者が決定しました。

なお、表彰授賞式につきましては、令和4年3月定例会の初日に、市役所5階の議場において行われる予定です。

1. 被表彰者 勝浦中学校3年生 末吉 暖歌さん
勝浦中学校3年生 関 裕里さん
勝浦中学校3年生 高梨 帆南さん
表彰基準 第47回全日本ライフセービング選手権大会
女子ビーチリレー準優勝（勝浦ライフセービングクラブ）
2. 被表彰者 勝浦小学校6年生 砂田 蓮音さん
表彰基準 第30回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道大会
千葉県代表 団体戦2位
3. 被表彰者 勝浦小学校5年生 笠原 小真千さん
表彰基準 第22回千葉県学童学年別水泳競技大会
小学5年 女子50m平泳ぎ 1位



令和3年11月臨時会審議結果

令和3年11月臨時会が11月25日に開かれ、議案1件が審議されました。
その結果について、賛成多数で可決されました。

		議案の賛否															
議案 番号	件 名	審議 結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
			鈴木 克己	狩野 光一	渡辺 ヒロ子	照川 由美子	戸坂 健一	磯野 典正	久我 恵子	寺尾 重雄	佐藤 啓史	岩瀬 洋男	松崎 栄二	丸 昭	黒川 民雄	岩瀬 義信	末吉 定夫
議案 第52号	工事請負変更契約の締結につ いて	可決	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	—	○	○	○	○

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「退」は退席（棄権）、「除」は除斥、「—」は議長を表します。

※議長は、地方自治法の規定により採決に加わりません。

市政の「ココ」が聞きたい

一般質問



12月8日・9日の2日間、市政全般について一般質問が行われました。

12月9日				12月8日			
鈴木 克己 議員	磯野 典正 議員	戸坂 健一 議員	寺尾 重雄 議員	佐藤 啓史 議員	照川由美子 議員	岩瀬 洋男 議員	久我 恵子 議員
①農業及び漁業の振興対策と生産物販路拡大に対する施策について	①域学連携事業から始まる持続可能な地域づくりについて ②軽石の漂着問題への対応状況について ③地域猫に対する不妊去勢手術助成金の創設について	①「水産業の未来を変える対策」について	①「勝浦海中公園 滞在型施設建設」に伴う周辺環境の整備について ②観光スポットをつなぎ、市内観光を活性化していく手立てについて	①テレワーク及びワーケーションの取り組みについて ②高齢者タクシー利用料助成事業について ③市営駐車場について	①子育て短期支援事業「子どもショートステイ事業」の整備について ②JR外房線にかかる課題と展望について	①「みなとオアシス勝浦」と興津港について ②観光型MaaSについて	①通学路のブロック塀の安全対策について ②新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種について

一般質問の記事は、発言議員本人が要約したものです。全文は、勝浦市議会会議録をご覧ください。また、インターネット録画配信でもご覧いただけます。(各議員のQRコードを掲載しています。)



テレワーク及びワーケーションについて

Q ①移住促進及び企業立地の取り組み状況②勝浦市の優位性③今後の課題。

A ①本年6月からKAPPLYビジターセンターに職員2名を配置し、相談体制の強化を図るとともに、10月からは地域おこし協力隊を1名委嘱し、プロモーション業務の拡充を図っている。企業立地については、県との連携及び情報交換しながら企業訪問を行ってきた。②夏涼しく、冬暖かいといった気候や自然環境が挙げられる。③立地を導く施設の確保やアクセスの整備が必要だ。



テレワーク拠点の確保は必要とされており、公共施設の用途変更や民間側の整備に対する支援策の創設等検討したい。

A テレワーク拠点の確保は必要とされており、公共施設の用途変更や民間側の整備に対する支援策の創設等検討したい。宿泊施設の整備は、中長期滞在に向けて必要不可欠であり、2地域居住や移住・定住の誘導策として効果的と考える。

Q テレワーク移住希望者に対する家賃等を補助する「テレワーク移住推進補助金制度」の創設を提案する。

A 実施状況等を調査研究したい。

Q ワーケーション自治体協議会への参加を提案する。

A 検討したい。

高齢者タクシー

Q 公共交通との相互利用と助成額を800円12

枚から400円24枚にすることを提案する。

A 路線バス及びデマンドタクシー運営事業者の小湊鉄道(株)と総合利用できると協議をしている。総野地区については、交付枚数を使い切った者に対して、再度交付可能とすることで、利用回数の格差を解消したい。

市営駐車場

Q 管理及び年間維持費をお聞きます。

A 開閉について墨名駐車場は観光協会に出水駐車場はシルバー人材センターに委託している。令和2年度実績で駐車場開閉委託費と電気料の合計で82万2992円である。

Q 有料化を提案する。

A 実態に即して有料について検討したい。



照川由美子議員

子育て短期支援「子どもショートステイ事業」の整備について

Q 子どもを養育しやすくするための対策は急務と考えますが、本市には「子どもショートステイ事業」は整備されていますか。

A 里親等への委託（里親等への委託）を受け、取り組みへの考えを伺います。

A 里親本来の養育支援の負担とならないよう配慮し、利用ニーズの把握に努め、今後の方向性を検討します。

Q 里親等への在宅型委託に踏み出すための条件を、現在どのようなお考えか伺います。

A まずは利用のニーズがあること、そして、それを支えるヒューマンパ



ワー（人的資源）と、土台となる設備（ハード面）の確保が必要です。今回の制度の拡充と基準の緩和を受け、安全性の確保を十分に踏まえて、事業化に向けての下地づくりに努めます。

Q 子どもを安心して産み育てられる環境づくりは、人口減少が続く本市の最重要課題と考えます。子育て支援事業に対し、市長はどのように取り組んでいくのか伺います。

A 明石市は、子育て世帯の施策を強く打ち出し、集中投資をして人口増にりました。重要なのは、教育機関と医療機関の充実と考えます。取り組みを鮮明にし、備えていきたいと考えます。

JR外房線に係る課題と展望について

Q 3月に提出するJRへの要望書の記述内容について伺います。

A ワンマン運転に伴う安全管理の徹底と、障害者・高齢者への配慮、乗り換え時間の適正化、空調や点字ブロック等の施設整備等を明記します。

Q JR鵜原駅周辺の施設統合と地域活性化についてのお考えを伺います。

A JR江見駅のような郵便局と駅の一体運営に加え、観光案内機能も視野に入れ、市と郵便局、JR東日本の連携による地域社会の活性化を目指し、努力します。



江見駅の変身！



岩瀬洋男議員

みなとオアシス勝浦と興津港について

Q みなとオアシスの取組とは何か。

A 地域住民の交流や観光の振興を通じて、地域の振興の取組が継続的に行われる施設を登録するものです。本市ではKAP P Y ビジターセンターを代表施設として、かつうら海中公園センターや海水浴場等で構成されます。

Q 全国で144か所目となる、みなとオアシス勝浦に登録されたメリットは。

A 全国のみなとオアシスとの連携が可能となります。地域住民や観光客の交流、観光情報提供等ソフト面の充実が基本となります。

Q 興津港が所在港湾として指定されています。



みなとオアシス登録と興津港との関連は。

A みなとオアシスは国土交通省が所管していますので、港湾法の対象となる港は市内では興津港のみのため、興津港が所在港湾になっています。

Q 興津海浜公園に記念のモニュメントを設置してはいかがか。

A まずは周知活動に力を入れて、モニュメント等を踏まえて検討し、今後の発展的な展開につなげていきます。

Q 興津港エココースト事業から20年以上が経過し、エコエリアの解除を検討してはいかがか。

A 今後、管理者であるいすみ土木事務所を主に、地元興津区を交えて協議の場を設けるように働き

観光型Maas（マース）について

Q 観光客の移動をモバイル端末など活用しながらJRやタクシー会社、バス会社等と連携し便利に、一体的に目的地に到着させようとするものが見解を伺います。

A 観光客が市内を周遊するには多様な手段がありますが十分機能しているとは言えない状況です。移動の円滑化は観光振興における重要課題です。市内交通業者をはじめ旅行者と課題解決の取組について協議を図り、検討してまいります。



興津港海浜公園



久我恵子議員

通学路の安全対策について

Q 登下校中の児童が「危険なブロック塀」や「危険な通学路」において犠牲になる痛ましい事故が続いている。勝浦市において、通学路上に確認されている危険なブロック塀は、いくつ確認されているのか。また、全国に1万力所以上あるという危険な通学路は勝浦市において何力所確認されているのか、その対応についてお聞きする。

A 危険なブロック塀は127力所。所有者に危険なブロック塀である事を直接、或いは書面にてお知らせした。撤去、改修の為に、令和2年より「ブロック塀等改修促進事業」として、改修等に



上限10万円の補助金を計上したが、利用が1件であった。今後は所有者に個別に周知し、「危険なブロック塀」の解消に努める。

危険な通学路については、グリーンベルトの設置や、横断歩道の引き直し等の安全対策を進めている。通学路の一部見直しや、ゾーン30化を含めた対応を今後、警察や関係部署等と協議を進めていく予定。

新型コロナウイルス3回目のワクチン接種について

Q 3回目のワクチン接種が行われる。接種のスケジュールと予約方法についてお聞きする。

A 令和3年12月から順次65歳以上の高齢者の方

から接種券を発送し、令和4年2月、3月に高齢者、4月以降に基礎疾患のある方から一般の方への順序で実施の予定。

予約方法については原則、日付指定方法で行う。日程の合わない方については、市の設置するコールセンターやインターネットの予約システムで日程の変更が可能。

Q 3回目の接種もファイザー社製での接種になるのか。

A 3回目の接種については令和3年12月現在、国から示されている2月、3月分の配分が、ファイザー社製約54%、モデルナ社製約46%であるので、概ねこの割合に沿って実施する。



渡辺ヒロ子議員

「勝浦海中公園 滞在型施設建設」に伴う周辺環境の整備について

Q 6月のオープン予定の「勝浦海中公園滞在型施設」について周辺施設状況と環境整備についてのお考えを伺う。

A 財源の問題はあるが、一帯を利用しやすいよう整備していく。また、開業した際には、鵜原駅からのアクセスを特に周知していく。指定管理者が決定したら、関係者全体で連携を図り、魅力ある観光地となるよう一帯を盛り上げていく。

Q 地域住民への配慮を重視し、乗り物手段やルートに応じた対策を検討してほしい。営業時間を夕方6時迄にした場合の駐車場問題は解決しているのか。



A 海博の所管である県の文化財課に、駐車場の駐車可能時間の延長をお願いしている。



Q 観光スポットをつなぎ、市内観光を活性化していく手立てについて

A 人を呼び込む手段として、勝浦の自然にプラスの満足が得られる施策、人を運ぶ手段として、巡回バスの実現化を進めてほしい。

次に公園の整備について、『しおかぜ公園』にトイレの設置、また、小さいお子さんから高齢者の方々、障害のある方で配慮した多様性を尊重した遊具の設置など公園の整備を検討したいが、いかががお考えか。

A よりよく使える公園を目指して整備していきたい。

Q 航路標識法が改正され、協力認定制度に指定されれば、勝浦灯台を観光振興に利用し、収益活動も可能になった。このことについての市のお考えを伺う。

A まずは協力団体の指定を目指し、灯台の一般公開、観光資源としての活用を図っていく。

Q 安心安全で、教育文化水準の高い町を実現させるために人の力が必須であり、まずは人を集めること、勝浦を知ってもらうことが必要。その為には勝浦の魅力を感じてもらえる積極的なPR活動を要望するが、市長のお考えを伺う。

A 市民が勝浦を愛せる土台を作ることが大事。新たな発信をできる施設の整備を考えていきたいと思っている。



鈴木克己議員

農業及び漁業の振興対策と生産物販路拡大に対する施策について

Q 土地改良事業により整備した農地でも、耕作放棄された農地が目立ってきたが対応は。

A 耕作放棄地関連事業を推進し、ほ場整備事業実施地区は地元地区から意見、要望を伺い今後の対策を検討する。

Q 農地有効利用促進のため、規模拡大農家へ積極的な集積とともに、一方では農地法の下限面積設定緩和による農地流動化対応が必要であるが面積緩和についての考えを伺う。

A 下限面積の緩和は、農地遊休化の防止や解消に効果的なため、農業委員会に見直しについて検



討依頼する。

Q 令和3年産のコメの低価格に対する対応と対策について伺う。

A 補正予算に主食用米等作付け農家支援補助金を創設した。この補助金を活用し、生産者を支援する。

Q 漁業の振興として実施してきた沿岸漁業及び磯根漁業に対する支援策について伺う。

A 平成30年度からのアワビ輪採事業が令和4年に初めて採取されるため事業内容を検証し、漁協と協議し継続的な支援に努める。

Q 漁業後継者育成や新規就業者への支援や取り組みの成果と今後の対応について伺う。

A 後継者に対する施策、支援を今後検討する。新規就業者は、県のインターンシップ制度や漁業技術研修制度を活用して対応する。

Q 農・漁業の生産物販路拡大のため、地場産品紹介と直接販売等が行える施設の設置についての考えを聞く。

A 観光基本計画でフィッシャーマンズマーケットの整備を掲げていますので早急に検討すべき事項と考えます。



マーケットイメージ図



磯野典正議員

域学連携事業から始まる持続可能な地域づくりについて

Q 現在、市が連携している大学との活動内容とまた行ってきた活動内容は？

A 現在、国際武道大学、千葉工業大学とそれぞれ包括連携協定を結び、敬愛大学とは観光商工部門において連携している。国際武道大学とは、中学校部活動指導者派遣などを主に教育文化及びスポーツ振興に取り組んでいる。千葉工業大学とは、市内公共交通に係る移動困難者のアンケート結果分析等を行い、敬愛大学とは、朝市の活性化などに取り組んでいる。

Q 勝浦市の地域資源活用と地域課題について、水



産学部系、農業学部系、環境学部系などといった幅広い分野での域学連携をすることで日本全国の地方の課題解決に結びつく事例が生まれるのではないかと考えます。長期的な域学連携事業を進める必要があると思いますが？

A 多様な連携を長期的、継続的に行うことは地域の活性化に効果的な取り組みであると考えます。今現在の連携内容についても、長期的、継続的な観点から、いま一度十分調査して進めて行きたいと思う。

Q もし、域学連携が可能となった場合、観光商工課長、農林水産課長、生活環境課長からどのような課題解決に向けた学生の協力を求めたいと考

A 観光商工課長・観光振興では周遊観光のコースや観光地経営など。商工業では看板デザインなどやアイデアなどの協力を得たい。農林水産課長・基幹産業である水産業、農林業の後継者や新規就業者不足、また付加価値のある商品開発など、外部からの目線で新しい発想を得ることも有効な手段だと考える。生活環境課長・再生可能エネルギー、地球温暖化対策、また、勝浦市に生息する生物や植物の再調査することで新たな発見が生まれ勝浦のPRにもなり、環境への学習にも繋がると考える。





戸坂健一議員

地域猫対策について

Q 近年、飼い主のいない猫が増加し、糞尿の処理や家屋への侵入が問題となっている。飼い主のいない猫を「地域猫」として適正に管理する必要がある。まず、勝浦市としてこの問題をどのように認識しているか。

A 飼い主のいない猫に関する苦情は月に数件あり、必要に応じて保健所と連携しながら現地確認をしている。

Q 勝浦市としても、地域猫に対する不妊去勢手術費用助成は有効な手段と考える。今後県と情報共有を図り、現状把握に努めつつ検討していく。

Q 千葉県にも地域猫活動に対する助成制度がある。こういった活動が助成対象になるのか。

A 地域猫の不妊去勢手術費用助成の他、自治体が行う地元説明会や捕獲器の購入費用、啓発チラシの印刷費なども対象になる。条件もあるので地域と相談し検討したい。

Q 市にはこうした地域の小さな問題にこそ救いの手を差し伸べて欲しい。市長にご意見を伺う。

A 今後は地域の要望を聞きながら、地域の事情に合った調整を図り、明



去勢の証に耳をカットした地域猫

Q 万が一の際の漁業者への補償については。

A 今後県や関係者と協議しながら検討していく。

Q 小笠原沖の海底火山爆発で発生した軽石は最大で5億mとも言われており、西日本では大きな問題となっている。万が一に備え、勝浦市でも準備すべきだ。関係者との情報共有体制は万全か。

A 水産事務所、各漁協と密に情報共有している。

Q 「海の豊かさを守ろう」について市のお考えをお伺いします。

A 目標に対する取組ですが、キンメ漁は休漁期間の設定、徹底した自主規制と管理を行い、資源保護意識の高さが評価を受けています。また、生活排水・河川の浄化等海洋ごみを減らす施策、環境の保全に努め、持続可能な水産業の確立について考えます。

Q 世界人口の増加に伴い、水産物の需要資源の向上が必要ですが、漁獲量減少・後継者不足など問題があります。「SDGs」目標12番「つくる責任・つかう責任」14番「海の豊かさを守ろう」について市のお考えをお伺いします。

A 漁獲の減少、不安定な燃油価格等厳しい中、事業の経営と安定化のため「つくり育てる漁業」を推進する必要があります。アワビの輪採事業は採取成果と費用対効果を分析し協議したいと考えます。昨年12月に特定水産動植物等の国内流通の適正化等に関する法律が制定され、違法漁獲を防止、資源の保存・管理等の一環となると考えます。

Q 以前に「勝浦フィッシューマンズ・ワーフ」について質問しました。3

年前松野に「道の駅」計画をしましたが、色々な問題で取りやめとなりました。基本計画Ⅱ「観光地としての魅力の向上と発言」の施策メニューで「フィッシューマンズ・マーケット」が出ています。勝浦イコール海・水産というイメージから港に近く現在無料の墨名駐車場に建設が望ましいと考えます。また勝浦朝市ですが、高齢化・衛生面・季節の寒暖等、その対策もお伺いします。

A 本年度策定した勝浦市観光基本計画にフィッシューマンズ・マーケット整備を掲げたところで、場所、関係者との協議、財源などの課題が想定され、検討に入り整備していきたいと考えます。たくさん課題がありますが、先駆けた施設運営・展開をやっていききたいと考えています。



るくすてきな環境の勝浦を目指していきたい。

軽石漂着問題について



寺尾重雄議員

「水産業の未来を変える対策」について

Q 漁業活性化及び漁獲量の減少のために何ができるかです。マグロの漁獲制限、キンメ・アワビ等の高騰、従事者の高齢化・後継者問題など、市のお考えをお伺いします。

A 漁獲の減少、不安定な燃油価格等厳しい中、事業の経営と安定化のため「つくり育てる漁業」を推進する必要があります。アワビの輪採事業は採取成果と費用対効果を分析し協議したいと考えます。昨年12月に特定水産動植物等の国内流通の適正化等に関する法律が制定され、違法漁獲を防止、資源の保存・管理等の一環となると考えます。

Q 以前に「勝浦フィッシューマンズ・ワーフ」について質問しました。3

年前松野に「道の駅」計画をしましたが、色々な問題で取りやめとなりました。基本計画Ⅱ「観光地としての魅力の向上と発言」の施策メニューで「フィッシューマンズ・マーケット」が出ています。勝浦イコール海・水産というイメージから港に近く現在無料の墨名駐車場に建設が望ましいと考えます。また勝浦朝市ですが、高齢化・衛生面・季節の寒暖等、その対策もお伺いします。

A 本年度策定した勝浦市観光基本計画にフィッシューマンズ・マーケット整備を掲げたところで、場所、関係者との協議、財源などの課題が想定され、検討に入り整備していきたいと考えます。たくさん課題がありますが、先駆けた施設運営・展開をやっていききたいと考えています。

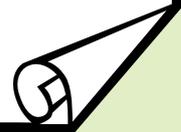


きみの未来、あなたの未来



勝浦中学校 3年
にしかわ あきね
西川 秋音 さん

私の将来の夢は、聴導犬訓練士です。理由は、聴覚や視覚に障がいのある人の役に立ちたいと思ったからです。現在、実働している聴導犬の数が不足しているといわれています。そのため、聴導犬トレーナーになって、聴導犬の数を少しでも増やし、聴覚に障がいのある人も暮らしやすい社会にしていきたいと考えています。まずは今飼っている犬を責任をもって世話をすること、そして、訓練士に必要な手話の勉強も頑張りたいと思います。



議会のうごきについて報告します (令和3年11月～令和4年1月)

議会のうごき

11月2日	観光振興議員連盟会議 ICT分科会	16日	本会議 最終日 議会運営委員会・議会表彰選考委員会 広報広聴常任委員会・議会改革検討委員会
4日	千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会(千葉市)	20日	市政懇談会
5日	議会運営委員会・全員協議会	23日	広報広聴常任委員会(議会報対談) 総合開発審議会
15日	全国過疎地域連盟定期総会(東京都)	24日	勝浦市芸術文化交流センター運営協議会
16日	夷隅郡市負担金審議特別委員会(いすみ市) 議会改革検討委員会		
22日	議会運営委員会	令和4年	
25日	11月臨時会 全員協議会	1月7日	交通安全祈願祭(遠見岬神社)
26日	国民健康保険事業の運営に関する協議会	8日	君津市市政50周年記念式典(君津市)
12月1日	議会運営委員会	9日	成人式
6日	本会議 初日	13日	千葉県南市議会議長会議員研修会(大網白里市)
8日	本会議 一般質問	19日	千葉市議会議長会役員会(千葉市)
9日	本会議 一般質問 ICT分科会	21日	議会運営委員会・議会表彰選考委員会 広報広聴常任委員会
10日	本会議 質疑	24日	千葉県自治体病院経営都市議会協議会視察研修会(オンライン)
13日	総務文教常任委員会	31日	千葉県市議会議長会研修会(オンライン)
14日	産業厚生常任委員会		

編集後記

1月の中旬にこの原稿を書いています、市民の皆様の手に渡るのが2月上旬になります。この一か月の間にオミクロン株がどの程度席巻しているのか非常に気になるところであります。

今回の勝浦水産事務所の皆さんとの対談では、漁業に関する諸問題に対し堅実に対応されている姿に大変共感を覚えました。引き続き関係者の皆さんと協働し活躍していただきたいと思います。

広報広聴常任委員 岩瀬 洋男

お問い合わせは、勝浦市広報広聴常任委員会(73-6662)まで

勝浦市ホームページ <http://www.city.katsuura.lg.jp>



QRコードは
ここだよ!



勝浦コピー